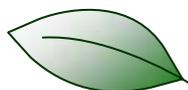
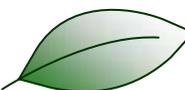


### 3 . 伊予灘沿岸の海岸保全に関する基本理念



## 愛媛県全体の海岸保全に関する基本理念



愛媛県特有の海岸を、県民の様々な要求に対応しつつ、県民共有の財産として次世代へ継承していくために、

### 『人にも自然にも 愛がある えひめの海岸づくり』

を県全体の海岸保全のための基本理念とし、これに基づき、各沿岸毎の基本理念を定める。  
愛媛県では、人命・財産の災害からの防護に優先的に取り組むこととし、緊急に防護が必要で投資効果の高い箇所から、その地域に適した海岸保全施設の整備に努める。

整備にあたっては、単に防護からの視点だけでなく、自然環境や自然景観の保全、海岸利用面への配慮も踏まえた対策に取り組む。

また、防護の必要性が低く、優れた自然環境や自然景観を有する箇所については、原則として海岸保全施設を整備せず、現在の自然を大切に保存していくための管理に努める。

## —— 伊予灘沿岸の海岸保全に関する基本理念 ——

伊予灘沿岸における海岸の現状や課題を踏まえ、「人にも自然にも暖かく、明るい伊予の海岸づくり」を「伊予灘沿岸の海岸保全に関する基本理念」とし、この理念の基に海岸保全を実施する。

### 人にも自然にも暖かく、明るい伊予の海岸づくり

#### 【 防護面での基本方針 】

地域を守る安全な海岸の整備を最優先に考え、高潮や侵食の危険性が高い地域など緊急に防護が必要で投資効果が高い箇所から計画的に整備を進める。

また、貴重な自然砂浜が残されている地域や侵食による汀線の後退傾向が著しい地域では、現状の砂浜の保全・維持に取り組む。

さらに、関係機関と連携して防災情報の提供や災害時の対応方法の周知、避難経路や避難場所の確保、地域住民の防災意識の向上、情報伝達及び避難体制の強化など防災体制の強化を図る。

#### 【 環境面での基本方針 】

藻場が沿岸一帯に分布する他、鳥類の飛来地で知られる重信川河口干潟が現存するなど、貴重な自然環境を有しており、こうした周辺の自然環境に支障を及ぼす行為をできるだけ回避し、自然との共生を図ることで、環境に配慮した海岸づくりを目指し、優れた海岸環境を次世代に継承する。

#### 【 利用面での基本方針 】

沿岸一帯に海水浴場が分布し、トライアスロンなど地域性のある海辺のイベントが展開されていることから、海辺のイベントや日常的な海岸利用に配慮するとともに迷惑行為の制限など、海岸利用のルールづくりやマナー啓発に努め、適正な海岸利用を促進する。

また、愛媛の流通拠点となる港湾機能や生活拠点となる漁港機能との調和を図りつつ、より多くの人々が海と親しむことのできる海岸づくりに配慮する。